



2020年 3月期 決算説明資料

2020年5月14日

石油資源開発株式会社

目次

I. 業績ハイライト 中期事業計画の進捗

代表取締役社長 社長執行役員 藤田 昌宏

II. 2020年3月期 決算の概要

取締役 常務執行役員 山下 通郎

III. 2021年3月期 業績予想の概要

取締役 常務執行役員 山下 通郎

I. 業績ハイライト

中期事業計画の進捗

代表取締役社長 社長執行役員 藤田 昌宏

本日のポイント

2020年3月期決算

(2019年度：当期)

営業利益142億円（前期比+119億円）

親会社株主に帰属する当期純利益268億円（前期比+120億円）

- ✓ 希釈ビチューメン販売数量増加・重軽格差改善、および前期計上の為替評価差損剥落効果などにより増益

2021年3月期業績予想

(2020年度：今期)

営業利益▲82億円（前期比▲225億円）

親会社株主に帰属する当期純利益▲31億円（前期比▲300億円）

- ✓ 福島天然ガス発電所営業運転開始により電力販売が増収となる一方、原油価格下落にともない減益を見込む
- ✓ コロナ禍の影響について、イラク・ガラフプロジェクトの生産・操業一時休止による販売量減少を織り込む

中期事業計画の進捗状況

中計目標（ROE \geq 5%）の達成に向け3事業を着実に実行

- ✓ 原油価格下落などにより今年度業績予想は悪化するものの、2022年度までの財務戦略である資金配分方針は従来を継続

株主還元

2020年3月期の1株当たり配当 年間50円（前期比10円増）

2021年3月期の1株当たり配当予想 年間50円（中間25円・期末25円）

- ✓ 安定配当の継続を基本方針とし、財務体質改善・成長投資促進による中長期的な企業価値向上および株主還元の拡充を目指す

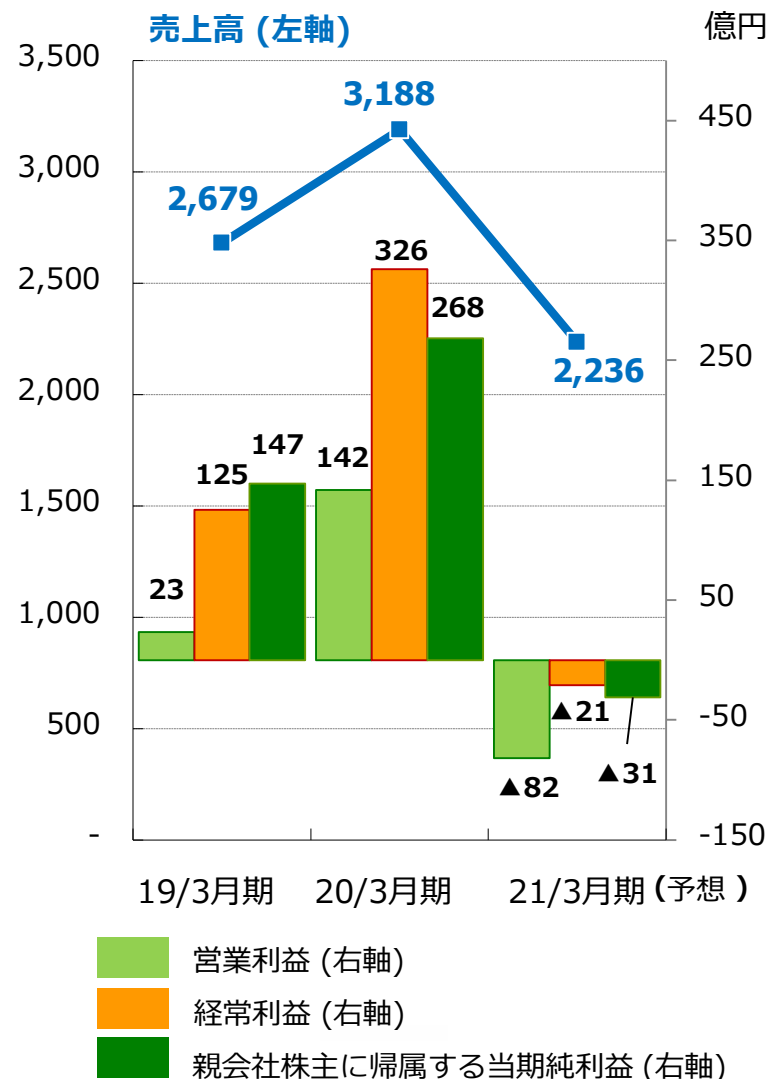
業績ハイライト： 20年3月期決算・21年3月期予想

■ 20/3月期実績（19/3月期実績比）

単位：億円	19/3月期 実績 (a)	20/3月期 実績 (a)	比較増減	
売上高	2,679	3,188	+508	+18%
営業利益	23	142	+119	+517%
経常利益	125	326	+201	+160%
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	268	+120	+81%
原油CIF価格 (USD/bbl)	71.94	68.11	▲3.83	▲5%
為替 (円/USD)	110.35	109.15	▲1.20	▲1%

■ 21/3月期予想（20/3月期実績比）

単位：億円	20/3月期 実績 (a)	21/3月期 予想 (f)	比較増減	
売上高	3,188	2,236	▲951	▲30%
営業利益又は営業損失 (▲)	142	▲82	▲225	-%
経常利益は経常損失 (▲)	326	▲21	▲347	-%
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失 (▲)	268	▲31	▲300	-%
原油CIF価格 (USD/bbl)	68.11	40.00	▲28.11	▲41%
為替 (円/USD)	109.15	108.00	▲1.15	▲1%



長期ビジョンと中期事業計画

長期ビジョン2030

“石油・天然ガスE&Pとその供給事業基盤を生かした総合エネルギー企業への成長”

目標 2030年のE&P事業と非E&P事業の利益構成割合=6：4を目指す ※当社連結営業損益+持分法損益の合計

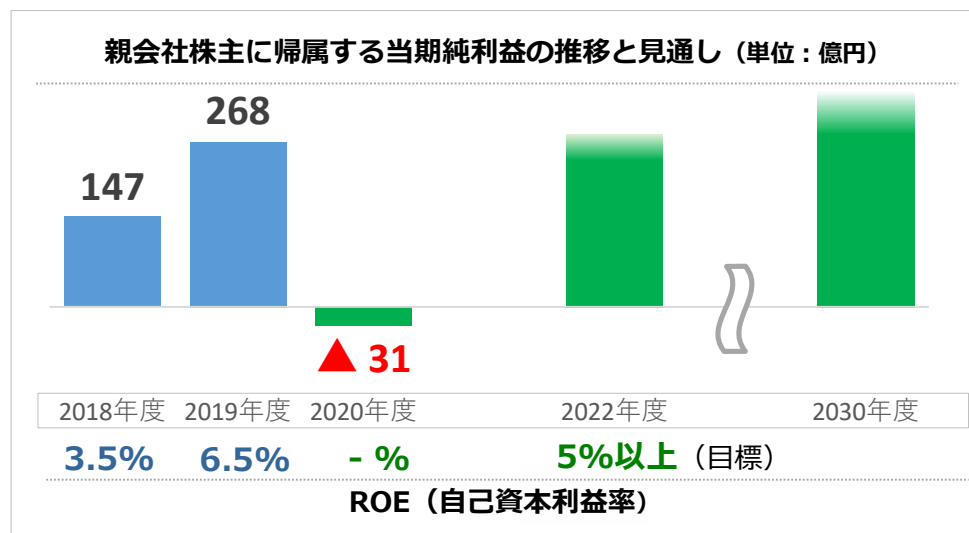
中期事業計画2018-2022

長期ビジョン実現に向けた最初の5年間として、財務体質の改善と事業基盤の多様化を図る

目標 2022年度にROE \geq 5%以上への改善を目指す ※原油CIF価格(JCC)=60USD/バレルを前提

- 2019年度のROEは6.5%
- 2020年度はコロナ禍の影響などによる原油価格低迷を主因に、5%の維持は難しい見通し

“原油価格変動に影響されにくい財務体質”
を目指し、中期事業計画を引き続き推進



各事業の目標と進捗状況

E&P事業

長期目標

RRR^{*1} > 1の維持

中期事業計画目標と2019年度の進捗

- 国内埋蔵量維持増加のための既存油ガス田追加開発検討と探鉱・開発案件の着実な推進
- 海外での新規権益獲得などの検討継続

インフラ・ユーティリティ事業

長期目標

低環境負荷エネルギーの推進

中期事業計画目標と2019年度の進捗

- 国内天然ガス取扱量(LNG換算)目標年間160万tに対する実績は約120万t
- 電力販売量目標年間28億kWh達成に向け、FGP発電所^{*2}当社引き取り分電力の販売先確保

新規事業

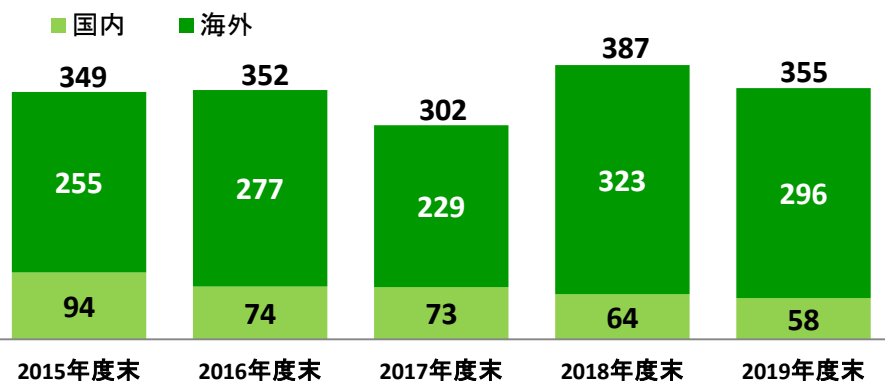
長期目標

環境配慮型事業の創出

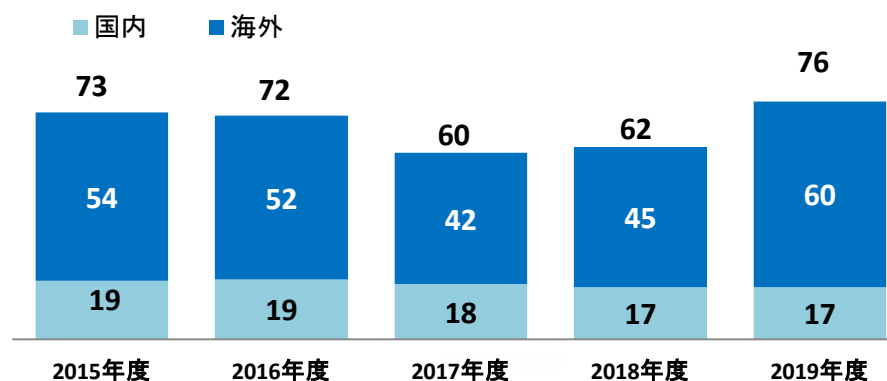
中期事業計画目標と2019年度の進捗

- 新たなビジネスモデルの構築に向けたLNG供給の知見や経験の横展開活動推進
- 新規事業シーズとしての社内公募・持ち込み案件の具体化

確認埋蔵量 (単位: 百万BOE^{*3})



生産量日量 (単位: 千BOED^{*4})



注 *1 RRR (Reserve Replacement Ratio) とは、企業がその有する埋蔵量から単年度 (または特定期間) に生産した石油ガスを回復し、翌年度以降も問題なく生産を継続できるかを示す数値
 *2 当社が33%出資する福島ガス発電株式会社 (FGP) が運用する、LNGを気化したガスを燃料とする福島天然ガス発電所 (2020年4月営業運転開始)
 *3 原油換算バレル (Barrels of Oil Equivalent) の略
 *4 原油換算日量バレル (Barrels of Oil Equivalent per Day) の略



主要事業の当年度進捗と今年度見通し

■ 事業推進：うち□は成長投資／●実証・検討段階：うち○は成長投資（候補含む）

事業	2019年度実績	2020年度見通し
E&P 事業	<p>【中長期的な国内埋蔵量追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道日高沖海上基礎試錐終了 <p>【海外プロジェクト推進・収益性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 英領北海シーガル鉦区開発始動（2021年末生産開始予定*1） 	<p>【国内生産量の維持・増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 北海道勇払浅層原油生産開始（6月予定*2） <p>【海外プロジェクト推進・収益性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ イラクガラフ油田日量23万bbl到達（12月予定*1） <div style="background-color: #ffe6e6; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; margin: 0;">継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内：生産量維持・増加&中長期的な埋蔵量追加策 ➢ 海外：カナダ2事業収益性向上/新規権益取得検討 </div>
I/U*3 事業	<p>【国内天然ガス安定供給】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ LNG販売調達部設置/シンガポール事務所始動 <p>【再生可能エネルギー開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 再生可能エネルギー事業部設置 	<p>【原油価格の影響を受けにくい事業基盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 福島天然ガス発電所*4営業運転開始（4月） <div style="background-color: #e6ffe6; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: green; color: white; margin: 0;">継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ガス需要の新規・追加獲得/競争力あるLNG調達 ➢ 再生可能エネルギー開発案件参画・獲得検討 </div>
新規 事業	<p>【次世代技術開発・実用化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 苫小牧CCS*5実証試験CO₂圧入累計30万t達成 <p>【新たなビジネスモデル構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 苫小牧港LNGバンカリング検討会実施 <p>【新規事業シーズ発掘】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 使用済み食用油原料SAF*6事業化検討開始 	<div style="background-color: #e6ffe6; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; background-color: lightgreen; color: white; margin: 0;">継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ CCS*5・CCUS*7/メタンハイドレート/海底鉦物資源探査技術など次世代技術の開発と実用化追求 ➢ 既存事業分野周辺で知見を用いた新たなビジネスモデル構築に向けた活動 ➢ 社内アイデア公募を含む新規事業シーズの発掘 </div>

注) *1 コロナ禍の影響により流動的

*2 原油価格下落の影響により流動的

*3 インフラ・ユーティリティ（Infrastructure/Utility）の略

*4 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電（株）が推進（当社出資比率33%）

*5 CO₂の回収・貯留（Carbon dioxide Capture and Storage）の略称

*6 次世代航空機燃料（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）の略称

*7 CO₂の回収・活用・貯留（Carbon dioxide Capture, Utilize, and Storage）の略称

連結財務状況および資金配分方針と見通し

2022年度の目標

- 有利子負債残高を約1,000～1,200億円程度まで圧縮
- 「有利子負債/EBITDA<2」の財務規律のもと、「E&P：非E&P=1：1」を目安とした成長投資を促進
- 長期安定配当を基本方針に、中長期的にさらなる株主還元の拡充を目指す

連結財務状況

	2018年度	2019年度
現預金 ^{*1}	881億円	1,199億円
投資有価証券	1,377億円	889億円
有利子負債 ^{*2}	1,517億円	1,408億円
EBITDA ^{*3}	417億円	582億円
有利子負債/EBITDA	約3.6倍	約2.4倍

上記目標を踏まえた2019～2022年度（4年間）の資金配分方針と実績・見通し

2019～2022年度の方針	資金配分（4年間累計）	2019年度実績	2020-2022年度見通し
① 既存プロジェクトの収益性改善	収益性改善投資へ 約600億円 →	年度実績：約70億円 →	
② 有利子負債の圧縮	借入金返済等へ 約550億円 →	年度実績：約110億円 →	
③ 成長投資の促進	成長投資へ 約650億円 →	年度実績：約10億円 →	従来方針を継続
④ 安定配当継続+株主還元拡充	配当金 約90億円+a ^{*4} →	+a実施：年間合計50円 (中間25円+期末25円) →	2020年度年間配当額は 前年度同額を予定
⑤ 政策保有株式の保有継続検証	- →	精査・検討の結果 一部を売却 →	精査・検討継続

注) *1現預金および既存プロジェクト投資額には、カラフプロジェクトに係る資金残高（2018年度・約293億円、2019年度・約401億円）および23万bbl/d達成に向けた再投資額を含まず

*2有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

*3 EBITDAは、営業利益、減価償却費、利息および配当金の受取額の合計額

*4 2018年度期首の配当金予想（中間20円+期末20円=年間合計40円）を4年間継続した想定+a

ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み状況

2019年度実績

2020年度見通し（実施予定時期）

E 環境	<p>【低炭素化への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 再生可能エネルギー開発専従組織設置 <p>【環境への取り組み拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ インターナル・カーボン・プライシング（ICP）を当社主要事業の投資評価へ導入 <p>【TCFD*1提言にもとづく対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 気候変動を含む事業のリスクの取締役会への年次報告を開始 	<p>【TCFD*1提言にもとづく対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 気候変動を含む事業のリスクマネジメント体制の整備（当年度内） ✓ GHG*2排出量目標設定とモニタリング体制整備（当年度内） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 情報開示を含め、TCFD提言にもとづく対応については、順次拡充を予定
S 社会	<p>【エネルギーの安定供給】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 総務法務部内にDX*3推進担当者配置 <p>【魅力ある職場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社初の女性部長任命 ✓ 人事制度改定：役割給導入 ✓ 経営人材育成プログラム導入 	<p>【エネルギーの安定供給/地域社会への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 福島天然ガス発電所営業運転開始（4月） <p>【魅力ある職場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材開発・教育体系見直し（当年度内）
G ガバナンス	<p>【経営体制等の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 社外取締役増員：2→3名 ✓ 意思決定機関変更：常務会→経営会議 <p>【コンプライアンスの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 行動指針を「倫理行動規範」に改定 <p>【リスクマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 首都圏大地震を想定したBCPの見直し 	<p>【経営体制等の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 社外取締役増員：3→4名（6月*） ✓ 取締役任期変更：2→1年（6月*） ✓ 役員報酬制度改定（6月*） <p>【コンプライアンスの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 国連グローバル・コンパクト加入（当年度内） <p>【リスクマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 新型コロナウイルス感染拡大状況下の事業継続対応

※は2020年6月開催の株主総会へ付議予定

注）*1気候変動関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

*2 温室効果ガス（greenhouse gas）

*3 デジタル・トランスフォーメーション（Digital Transformation）

Ⅱ. 2020年3月期 決算の概要

取締役 常務執行役員

山下 通郎

20年3月期 天然ガス販売実績【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	19/3月期(a)		20/3月期(a)		増減	
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高
天然ガス	百万M3	1,731	67,820	1,699	67,231	▲31 ▲1%	① ▲588 ▲0%

販売量内訳

国内ガス販売	百万M3	1,243	65,435	1,268	64,965	+24 +1%	▲469 ▲0%
- 国産天然ガス		630	-	582	-	▲48 ▲7%	-
海外ガス販売* ¹		487	2,384	431	2,265	② ▲56 ▲11%	▲119 ▲5%

増減要因コメント

- ①国内ガス販売価格下落
- ②カナダシェールガス販売量減少

* 1海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp. の数値

20年3月期 原油販売状況【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	19/3月期(a)		20/3月期(a)		増減	
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高
原油	千KL	3,064	124,696	4,563	173,177	① +1,499 +48%	+48,481 +38%
権益原油の内訳							
国産原油*1	千KL	261	13,746	304	14,800	+43 +16%	+1,053 +7%
海外原油*2		366	16,599	1,123	45,372	② +756 +206%	+28,773 +173%
希釈ビチューメン*3		1,176	30,116	1,639	45,025	③ +463 +39%	+14,909 +49%

原油価格と為替の前提

		19/3月期(a)	20/3月期(a)	増減	
原油CIF価格	USD/bbl	71.94	68.11	▲3.83	▲5%
希釈ビチューメン価格*3		36.67	39.85	+3.18	+8%
為替	円/USD	110.35	109.15	▲1.20	▲1%

増減要因コメント

- ① 海外原油および希釈ビチューメン等の販売量増加
- ② イラク ガラフ油田 販売量増加
- ③ カナダ ハンギングストーン鉱区 販売量増加および重軽格差*4の改善

*1 買入原油を除く

*2 海外連結子会社株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*3 ロイヤリティー控除後の数値

*4 カナダ産重質油と軽質油であるWTIとの価格差

20年3月期 決算概要【前期比】

単位：百万円	19/3月期 (a)	20/3月期 (a)	比較増減	
売上高	267,980	318,822	+50,842	+18%
売上総利益	34,846	47,042	+12,196	+35%
探鉱費	788	893	+104	+13%
販管費	31,743	31,864	+121	+0%
営業利益	2,313	14,283	+11,970	+517%
営業外損益	10,209	18,351	+8,141	+79%
経常利益	12,523	32,635	+20,112	+160%
特別損益	550	▲731	▲1,282	-%
法人税等	▲1,254	4,788	+6,043	-%
非支配株主に帰属する 当期純利益又は 当期純損失(▲)	▲441	299	+741	-%
親会社株主に帰属 する当期純利益	14,770	26,815	+12,044	+81%

損益変動要因コメント

増益要因を「+」、減益要因を「▲」で記載

売上総利益

国内 +2億円
海外 +119億円

営業外損益

持分法投資損益 ▲5億円
借入金ほか為替換算差額 +77億円
(19/3期)差損 52億円 → (20/3期)差益 24億円
受取配当金 +35億円
(前期)JACOS DEMO権益売却に伴うARO取崩 ▲32億円

特別損益

(前期)不動産売却益 ▲7億円
余目油田(山形県)減損損失 ▲5億円

法人税等

(前期)親会社一過性要因剥落等による税金費用増 ▲31億円
(前期)イラクプロジェクト外国税額控除適用等 ▲26億円
JACOS税金費用発生 ▲12億円
英領北海プロジェクト税効果 +15億円

Ⅲ. 2021年3月期 業績予想の概要

取締役 常務執行役員

山下 通郎

業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

			（上段）2019年1月～2020年3月					通期
			（下段）2020年1月～2021年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
WTI	USD/bbl	前期実績	54.90	59.82	56.45	56.96	-	57.14
		今期予想	46.17	35.00	35.00	35.00	-	37.72
原油CIF (JCC)	USD/bbl	前期実績	-	68.77	69.95	64.72	69.47	68.11
		今期予想	-	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
為替	円/USD	前期実績	-	111.11	108.26	107.71	109.29	109.15
		今期予想	-	108.00	108.00	108.00	108.00	108.00
JACOS 希釈ビチューメン*1	USD/bbl	前期実績	37.98	44.20	39.83	36.62	-	39.85
		今期予想	22.45	19.34	20.08	20.04	-	20.52
JML 天然ガス*2	CAD/mcf	前期実績	2.28	1.33	1.41	2.02	-	1.77
		今期予想	2.14	1.80	1.80	1.80	-	1.88

*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

売上高の説明区分変更について

長期ビジョン2030におけるE&P事業・非E&P事業を明確化するため、説明区分を変更

- 電力事業の本格化を機に、従来区分を「E&P、インフラ・ユーティリティ、その他」に変更
- 国内における天然ガス販売は、LNG基地・パイプライン等の国内インフラと一体であるとの整理のもと、インフラ・ユーティリティに区分

■ 変更前 20年3月期

本資料で説明

原油・天然ガス	原油	国産原油
		海外原油
		買入原油
		希釈ビチューメン
	天然ガス	海外ガス
		国内ガス
液化天然ガス		

請負	
----	--

その他	石油製品・商品	
	その他	

■ 変更後 21年3月期～

新規追加

本資料で説明

E&P	原油	国産原油
		海外原油
		買入原油
	希釈ビチューメン	
インフラ・ユーティリティ	天然ガス	国内ガス
	液化天然ガス	
	電力	
	その他*1	

その他	請負	
	石油製品・商品	
	その他	

*1 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

21年3月期 E&P事業 販売予想

売上高単位：百万円	販売量単位	20/3月期 実績(a)		21/3月期 予想(f)		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
E&P事業	-	-	175,443	-	74,618	-	-	① ▲100,825 ▲57%

内訳

原油	千 K L	2,924	128,152	1,797	50,666	▲1,127	▲39%	▲77,487	▲60%
- 国産原油		304	14,800	318	8,597	+14	+4%	▲6,203	▲42%
- 海外原油*1		1,123	45,372	90	2,406	② ▲1,033	▲92%	▲42,966	▲95%
- 買入原油		1,496	67,979	1,390	39,662	▲107	▲7%	▲28,317	▲42%
希釈ビチューメン*2		1,639	45,025	1,520	21,191	③ ▲119	▲7%	▲23,835	▲53%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	431	2,265	506	2,762	④ +75	+17%	+496	+22%

増減要因コメント

- ①海外原油の販売量減少や、希釈ビチューメンの販売量減少および販売価格下落
- ②イラク ガラフ油田 販売量減少
- ③カナダ ハンギングストーン鉱区 販売価格下落および販売量減少
- ④カナダシェールガスの販売量増加

*1 海外連結子会社株式会社ジャパックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

21年3月期 インフラ・ユーティリティ事業 販売予想

売上高単位：百万円	販売量単位	20/3月期 実績(a)		21/3月期 予想(f)		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	88,658	-	102,188	-	-	① +13,530 +15%

内訳

天然ガス・国内販売	百万M3	1,268	64,965	1,229	55,458	▲40	▲3%	▲9,508	▲15%
- 国産天然ガス		582	-	514	-	▲68	▲12%	-	-
液化天然ガス	千トン	273	19,395	301	18,493	+27	+10%	▲902	▲5%
電力	百万kWh	110	974	2,763	22,835	② +2,653	+2,408%	+21,861	+2,244%
その他*1	-	-	3,323	-	5,402	-	-	③ +2,079	+63%

増減要因コメント

- ①電力販売量の増加
- ②福島天然ガス発電所の営業運転開始に伴う電力販売量増加
- ③福島ガス発電(株)向けのLNGの気化受託収入増加など

*1 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

21年3月期 業績予想

単位：百万円	20/3月期 実績(a)	21/3月期 予想(f)	増減	
売上高	318,822	223,685	▲95,138	▲30%
売上総利益	47,042	24,996	▲22,047	▲47%
探鉱費	893	988	+95	+11%
販管費	31,864	32,230	+365	+1%
営業利益又は 営業損失 (▲)	14,283	▲8,222	▲22,506	-
営業外損益	18,351	6,083	▲12,268	▲67%
経常利益又は 経常損失 (▲)	32,635	▲2,139	▲34,774	-
特別損益	▲731	▲29	+703	-
法人税等	4,788	1,853	▲2,936	▲61%
非支配株主に帰属する当期純 利益又は当期純損失 (▲)	299	▲828	▲1,128	-
親会社株主に帰属する当期純 利益又は当期純損失 (▲)	26,815	▲3,193	▲30,008	-

損益変動要因コメント

増益要因を「+」、減益要因を「▲」で記載

売上総利益

国内
海外

▲45億円
▲175億円

営業外損益

持分法投資損益

▲71億円

借入金ほか為替換算差額

▲24億円

(20/3期)差益 24億円 → (21/3期) 見込まず

受取配当金

▲16億円

受取利息

▲4億円

特別損益

(前期)余目油田(山形県)減損損失

+5億円

法人税等

課税所得減少など

+29億円

21年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	21/3月期 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/▲減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	原油CIF価格 USD 40.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	520	460	+ 原油・天然ガス販売 ▲ LNG調達コスト増
	WTI USD 35.00/bbl		330	311	(上記のうち) + 希釈ビチューメン販売
為替	108.00円/USD	1 円/USD の円安	20	▲20	+ 原油・天然ガス販売 ▲ LNG調達コスト増
カナダ産 ガス価格	CAD 1.88/mcf 82.00円/CAD	CAD 1 /mcf の価格上昇	640	670	+ カナダシェールガス販売 ▲ オイルサンド生産コスト増

- ・ 持分法適用会社の損益変動は、上記影響から除く
- ・ 為替変動の影響は、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額は除く
- ・ 実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によって影響を受ける

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. キャッシュフローの状況および財務規律
4. 事業拠点

1.1 売上高内訳 E&P

金額：百万円	19/3月期(a)		20/3月期(a)				21/3月期(f)	
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期 (累計)	通期	
							5.14公表	
E&P事業売上高	127,080	54,133	39,284	51,859	30,165	175,443	74,618	
原油販売量 (千KL)	1,888	891	578	853	601	2,924	1,797	
原油売上高	94,579	42,717	26,185	39,146	20,103	128,152	50,666	
国産原油販売量 (千KL)	261	79	68	77	79	304	318	
国産原油売上高	13,746	3,997	3,374	3,621	3,807	14,800	8,597	
海外原油販売量 (千KL) *1	366	465	163	314	178	1,123	90	
海外原油売上高	16,599	21,737	6,981	14,470	2,182	45,372	2,406	
買入原油販売量 (千KL)	1,260	346	346	460	343	1,496	1,390	
買入原油売上高	64,233	16,982	15,829	21,054	14,112	67,979	39,662	
希釈ビチューメン販売量 (千KL) *2	1,176	402	436	452	348	1,639	1,520	
希釈ビチューメン売上高	30,116	10,689	12,696	12,288	9,351	45,025	21,191	
天然ガス海外販売量 (百万M3) *3	487	108	104	106	111	431	506	
天然ガス海外売上高	2,384	726	403	424	710	2,265	2,762	

原油CIF (USD/bbl)	71.94	68.77	69.55	64.72	69.47	68.11	40.00
為替 (円/USD)	110.35	111.11	108.26	107.71	109.29	109.15	108.00
希釈ビチューメン*2 (USD/bbl)	36.67	37.98	44.20	39.83	36.62	39.85	20.52
JML天然ガス*4 (CAD/mcf)	1.69	2.28	1.33	1.41	2.02	1.77	1.88

*1 海外連結子会社株式会社ジャパックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティ控除後

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

*4 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤルティ控除後)

1.2 売上高内訳 インフラ・ユーティリティ事業

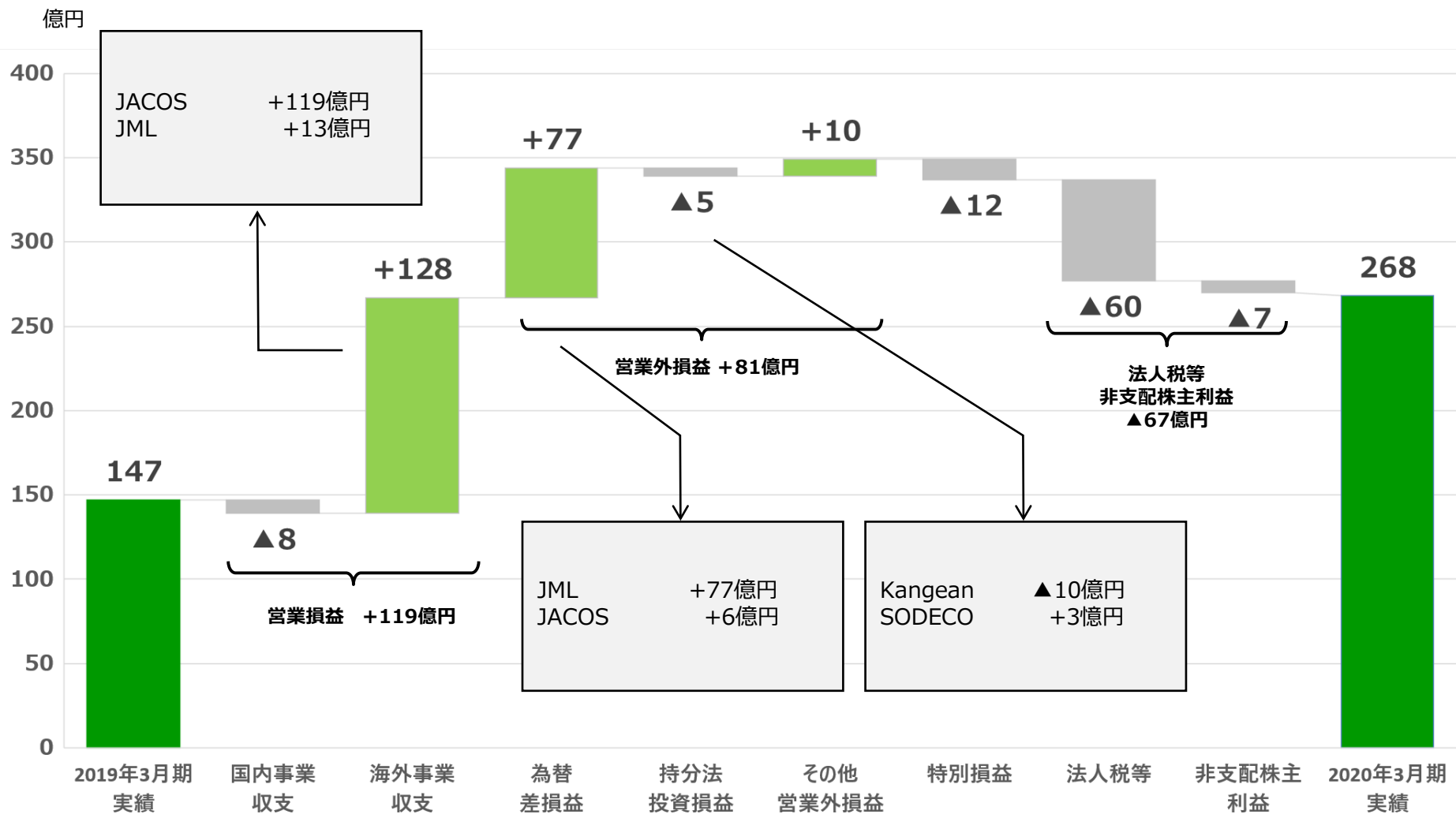
金額：百万円	19/3月期(a)		20/3月期(a)				21/3月期(f)	
	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期 (累計)	通期	
							5.14公表	
インフラ・ユーティリティ事業売上高	91,768	23,171	17,130	20,947	27,408	88,658	102,188	
天然ガス国内販売量 (百万M3)	1,243	267	266	323	411	1,268	1,229	
天然ガス国内売上高	65,435	14,846	13,386	16,083	20,649	64,965	55,458	
国産天然ガス販売量 (百万M3)	630	137	132	149	163	582	514	
液化天然ガス販売量 (千トン)	322	111	38	56	67	273	301	
液化天然ガス売上高	22,913	7,501	2,817	4,082	4,992	19,395	18,493	
電力販売量 (百万kWh)	2	1	0	0	107	110	2,763	
電力売上高	112	40	31	23	878	974	22,835	
その他*1	3,306	782	895	757	887	3,323	5,402	

*1 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

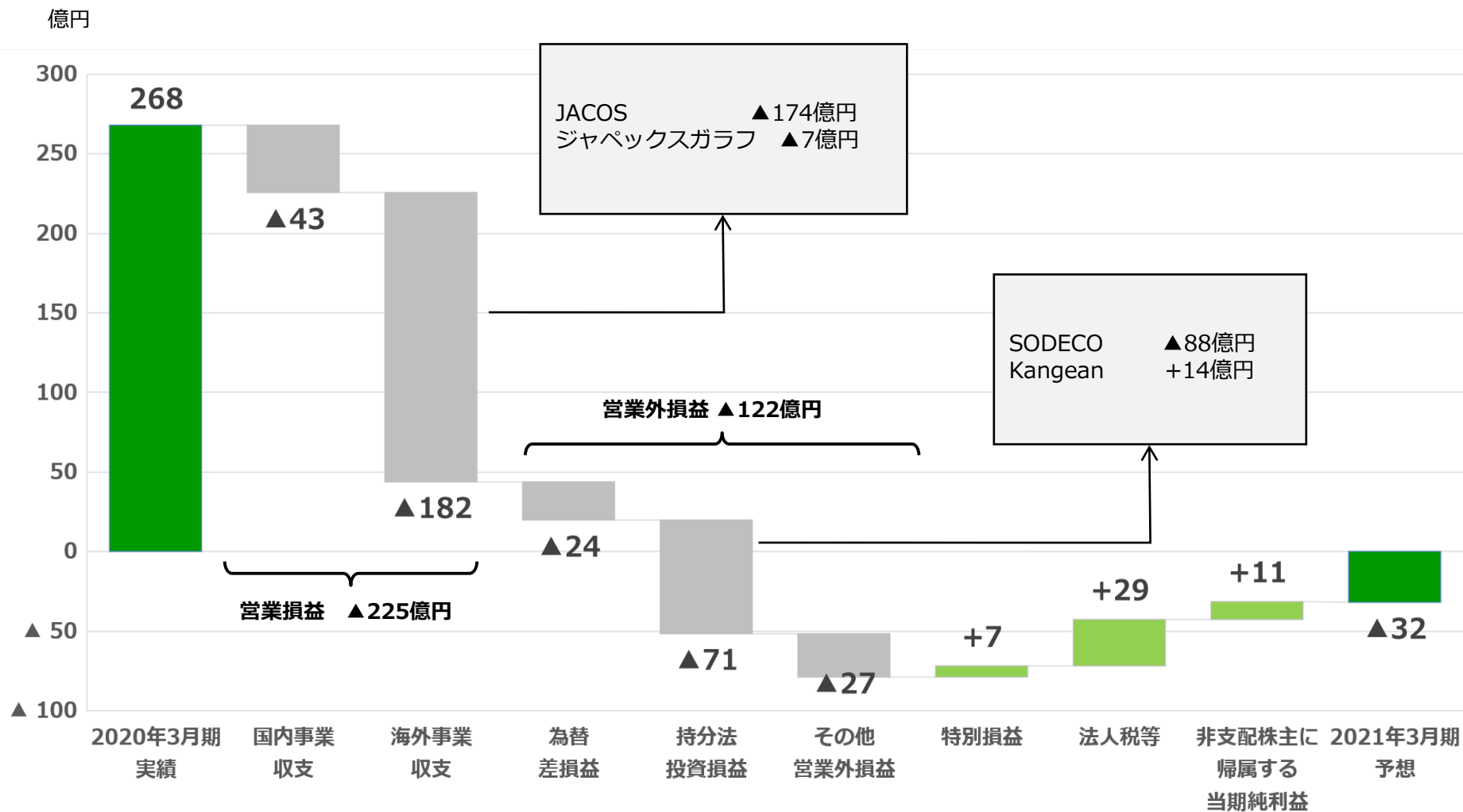
2.1 損益の状況

	単位：百万円	19/3月期(a)		20/3月期(a)				21/3月期(f)
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期 (累計)	通期
								5.14公表
売上高		267,980	93,252	69,093	85,472	71,003	318,822	223,685
E&P事業		127,080	54,133	39,284	51,859	30,165	175,443	74,618
インフラ・ユーティリティ事業		91,768	23,171	17,130	20,947	27,408	88,658	102,188
その他		49,131	15,948	12,678	12,665	13,429	54,721	46,878
売上原価		233,133	80,812	58,432	73,417	59,118	271,780	198,689
売上総利益		34,846	12,440	10,661	12,055	11,884	47,042	24,996
探鉱費		788	217	140	358	176	893	988
販管費		31,743	7,605	7,407	7,893	8,957	31,864	32,230
営業利益又は営業損失		2,313	4,617	3,113	3,803	2,750	14,283	▲8,222
営業外損益		10,209	4,292	1,613	2,410	10,035	18,351	6,083
受取利息		1,598	307	277	261	249	1,096	641
支払利息		▲4,130	▲1,237	▲1,196	▲1,052	▲1,154	▲4,641	▲3,723
受取配当		2,102	1,649	8	1,337	2,621	5,618	3,964
持分損益		12,550	2,390	2,015	2,391	5,163	11,960	4,848
海投損繰入・戻入		358	85	85	85	85	342	342
為替差損益		▲5,296	1,099	384	▲654	1,595	2,425	-
その他		3,027	▲3	38	41	1,473	1,550	11
経常利益又は経常損失		12,523	8,909	4,726	6,213	12,785	32,635	▲2,139
特別損益		550	▲4	▲14	▲144	▲568	▲731	▲29
税金等調整前当期純利益又は当期純損失		13,074	8,905	4,712	6,068	12,217	31,903	▲2,168
法人税		▲1,254	▲206	1,718	1,593	1,682	4,788	1,853
非支配株主に帰属する当期純利益又は当期純損失		▲441	159	▲124	▲10	275	299	▲828
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失		14,770	8,951	3,118	4,486	10,258	26,815	▲3,193

2.2 20年3月期 決算 純利益増減分析 (前期比)



2.3 21年3月期 業績予想 純利益増減分析 (前期比)



2.4 セグメント損益の状況

単位：百万円		19/3月期(a)	20/3月期(a)					21/3月期(f)
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期 (累計)	通期
								5.14公表
日本	営業利益	19,308	5,623	3,564	4,605	5,041	18,834	15,026
	持分法投資利益	165	59	22	19	51	152	617
北米	営業利益又は営業損失	▲9,751	1,311	1,476	1,004	▲370	3,422	▲14,006
	持分法投資損失	▲10	-	-	-	-	-	-
欧州	営業損失	▲157	▲71	▲13	▲25	▲54	▲164	▲167
	持分法投資利益又は損失	-	-	-	-	-	-	-
中東	営業利益又は営業損失	955	▲169	235	359	187	612	▲140
	持分法投資利益又は損失	2	▲1	0	▲4	▲3	▲8	▲7
その他*1	営業利益又は営業損失	▲7	▲1	0	0	0	▲1	0
	持分法投資利益	12,392	2,331	1,993	2,376	5,115	11,816	4,237

*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

3. キャッシュフローの状況および財務規律

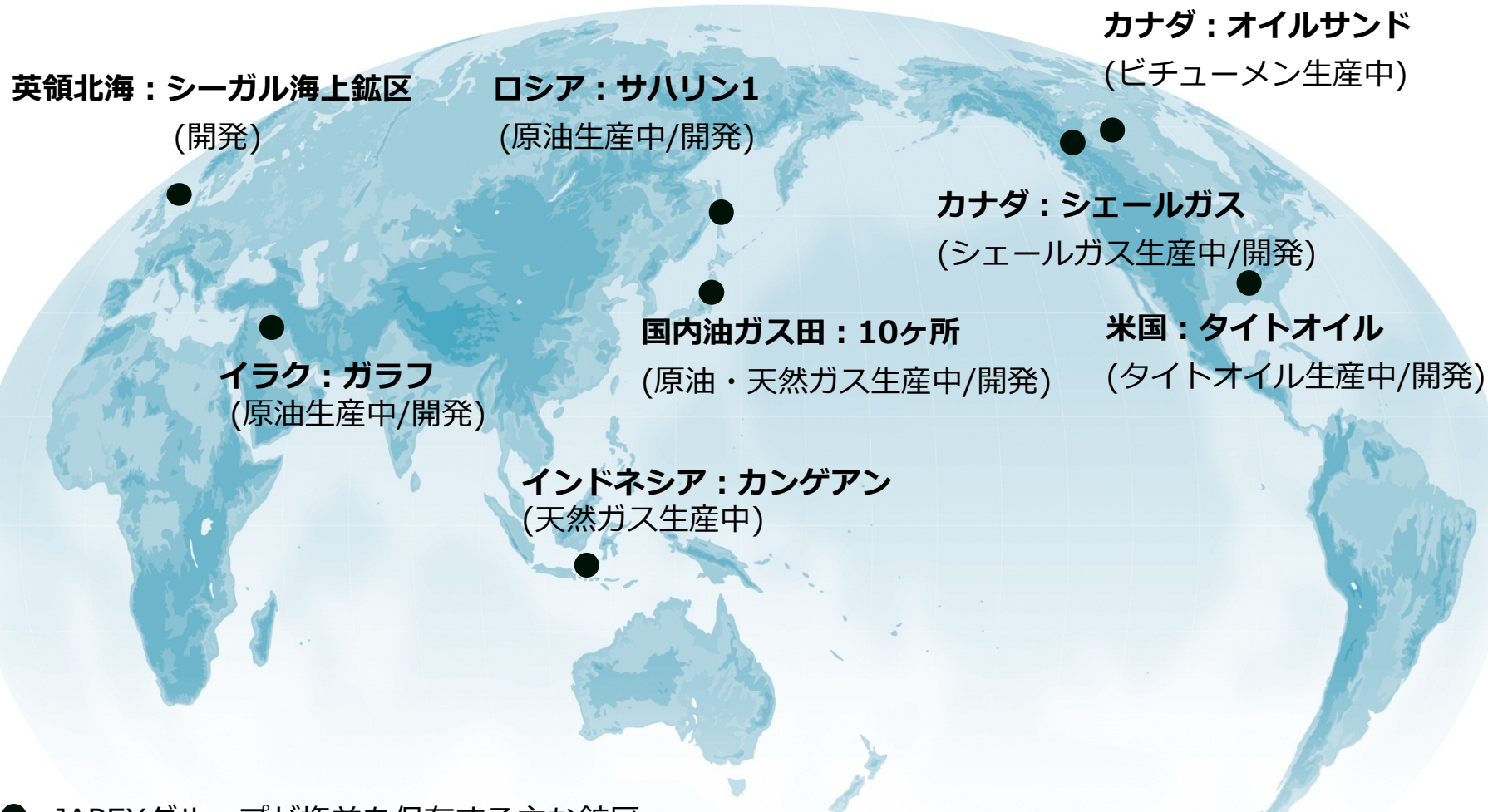
単位：百万円	19/3月期(a)		20/3月期(a)		21/3月期(f)
	通期	2Q (累計)	通期 (累計)	通期	
				5.14公表	
営業活動によるキャッシュフロー	30,970	37,061	69,895	25,462	
減価償却費	23,296	12,422	25,190	23,951	
生産物回収勘定の回収	11,118	26,583	41,040	-	
投資活動によるキャッシュフロー	▲13,969	▲11,353	▲18,701	▲28,375	
有形固定資産の取得による支出	▲12,955	▲2,464	▲7,566	▲19,048	
生産物回収勘定の支出	▲25,107	▲13,865	▲30,226	▲13,379	
財務活動によるキャッシュフロー	▲15,493	▲8,435	▲13,743	▲14,160	

有利子負債*1	151,726	-	140,848	125,112	
EBITDA*2	41,736	-	58,296	23,875	
EBITDA有利子負債倍率（倍）	3.6	-	2.4	5.2	

*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

4. 事業拠点 主な生産・開発プロジェクト



日本① E&P事業／インフラ・ユーティリティ事業

(E&P事業) 国内油ガス田

- 国内10カ所の油ガス田で生産中
- 国内埋蔵量の補填、および生産量の維持を追及
- 国の基礎調査等を通じた海域における探鉱ポテンシャルの追及

●現在進行中のプロジェクト

- ・ 勇払浅層原油開発：2020年6月の生産開始を予定^{*1}

(I/U^{*2}事業) 国内天然ガスサプライチェーン

- 生産した天然ガスはパイプラインやローリー、鉄道貨車輸送などさまざまな方法で輸送・供給を実施
- 海外からのLNG（液化天然ガス）を受入・貯蔵する拠点を日本海側および太平洋側双方にもち、より広範囲なエリアへLNGを供給可能なネットワークを構築

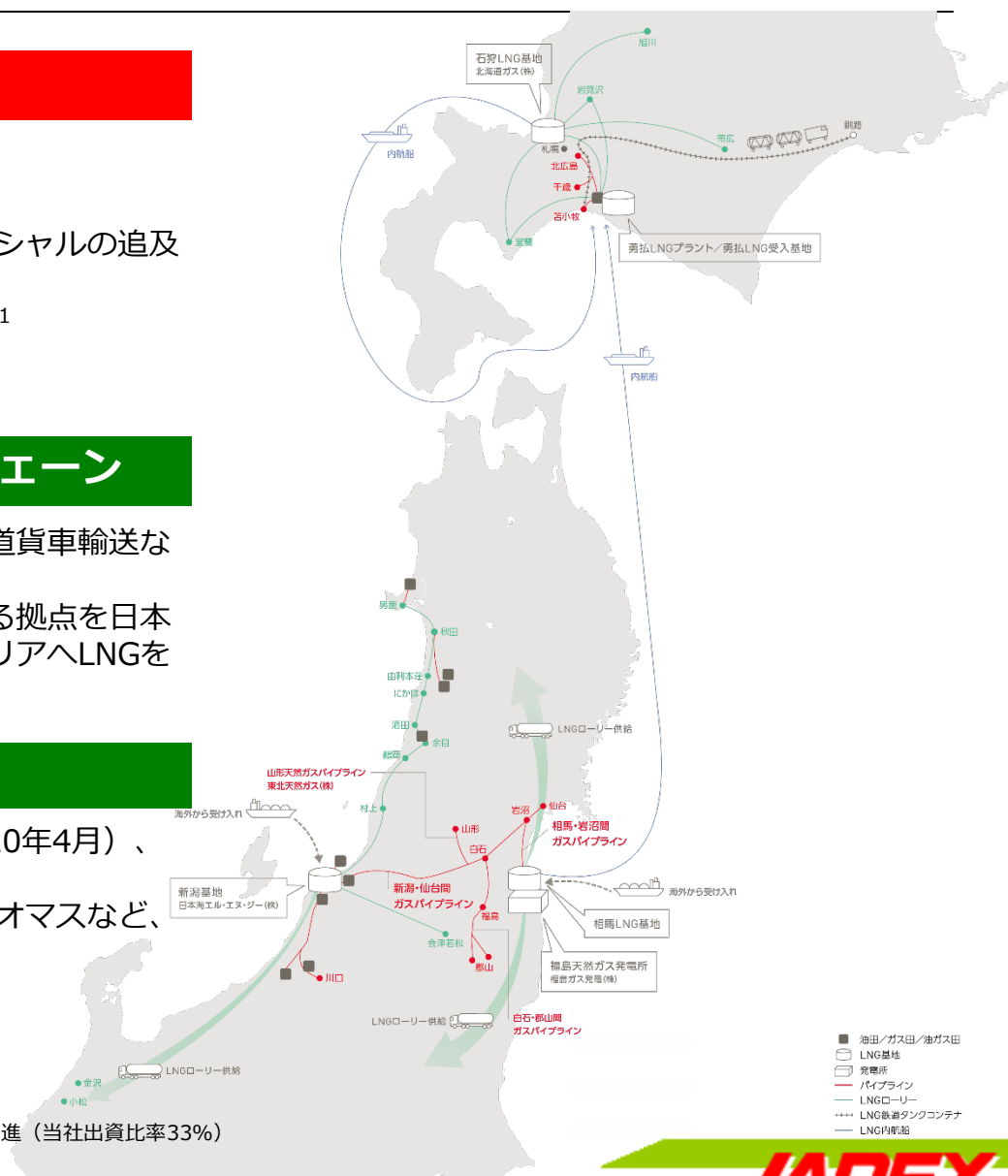
(I/U事業) 電力開発・販売

- 福島天然ガス発電所^{*3}で1号機営業運転開始（2020年4月）、2号機は2020年夏に営業運転開始予定
- 再生可能エネルギー事業部を設置し、風力やバイオマスなど、さまざまな分野での再エネ開発参画の機会を追求

*1 原油価格下落の影響により流動的

*2 インフラ・ユーティリティ (Infrastructure/Utility) の略

*3 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株)が推進（当社出資比率33%）



■ 油田／ガス田／油ガス田
 ○ LNG基地
 □ 発電所
 — パイプライン
 — LNGローリー
 + LNG敷設タンクコンテナ
 — LNG内航船

日本② 新規事業

次世代技術開発

- 日本CCS調査(株)を通じて推進する苫小牧CCS実証試験でCO₂目標圧入量30万t達成（2019年11月）
- 「次世代海洋資源調査技術研究組合（J-MARES）」を通じ、熱水鉱床等の海洋鉱物資源を対象とした調査技術の確立を進めるとともに、レアアース泥を想定した深海資源開発の産業化モデルの構築を推進
- 日本メタンハイドレート調査(株)を通じ、砂層型メタンハイドレートに関する資源回収技術・探査技術の研究開発作業を継続

新たなビジネスモデルの構築

- 「苫小牧港LNGバンカリング検討会」で、早期のLNGバンカリング実現へ向けた検討を官民で実施
- LNG鉄道貨車輸送の海外展開に係る取組みを推進

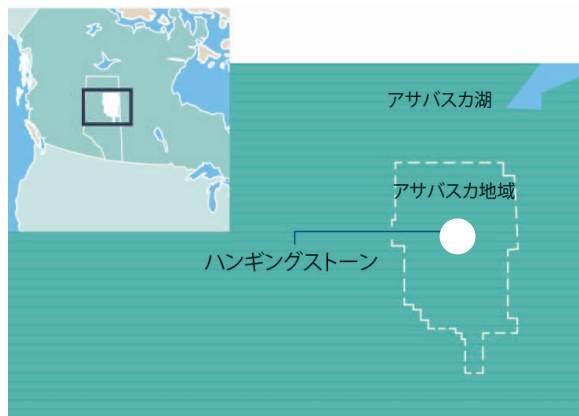
新規事業シーズの発掘

- 使用済み食用油を原料とした次世代航空機燃料のバリューチェーン構築に向けた検討開始
- 定期的な社内アイデアの募集や他社からの持ち込み案件の審査・進捗確認を実施

北米 E&P事業

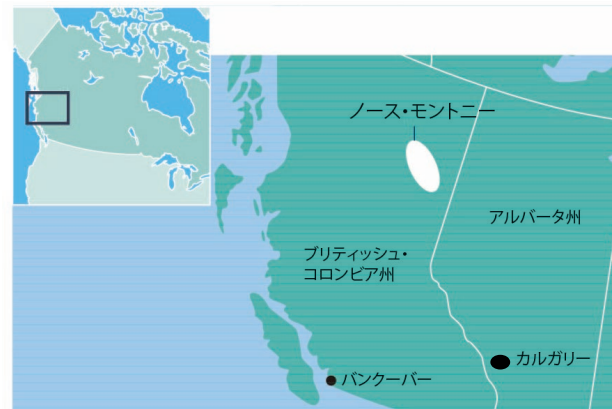
カナダ オイルサンドプロジェクト

プロジェクト会社	カナダオイルサンド(株) (CANOS) 当社出資比率94.58% 現地法人 Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)
鉱区名	ハンギングストーン鉱区 (オペレーター)
権益比率	75% (当社ネット 70.935%)
状況	生産 日量2万バレル規模を軸に市況をみながら柔軟な生産操業を継続中
生産量	日量2.1万bbl (20年3月平均、グロス)



カナダ シェールガスプロジェクト

プロジェクト会社	JAPEX Montney Ltd. (JML) 当社出資比率55%
鉱区名	ノース・モントニー鉱区
権益比率	10% (当社ネット 5.5%)
状況	生産/開発 経済性の高いエリアを優先する開発計画を策定し、事業価値および収益の最大化へ向けた取り組みを継続
オペレーター	Petronas Energy Canada Ltd.
生産量	日量1,253万M3 原油換算日量約7.4万bbl (20年3月平均、グロス)



欧州・中東 E&P事業

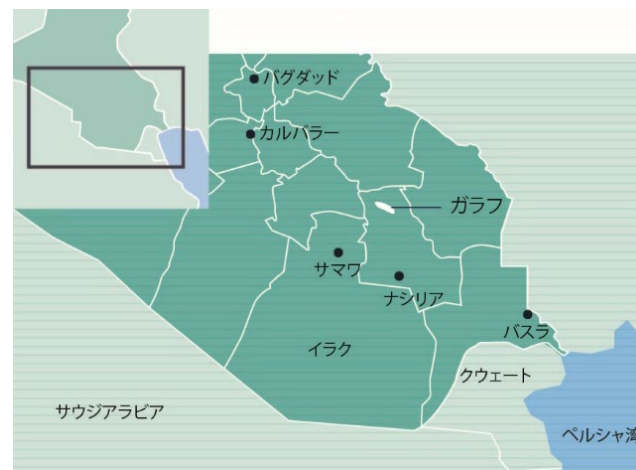
英領北海 シーガル海上鉱区

プロジェクト会社	JAPEX UK E&P Ltd. 当社出資比率100%
鉱区名	シーガル鉱区
権益比率	15% (当社ネット15%)
状況	開発 2021年の生産開始に向け開発作業実施中 (コロナ禍の影響などにより流動的)
オペレーター	Neptune E&P UK Limited



イラク ガラフプロジェクト

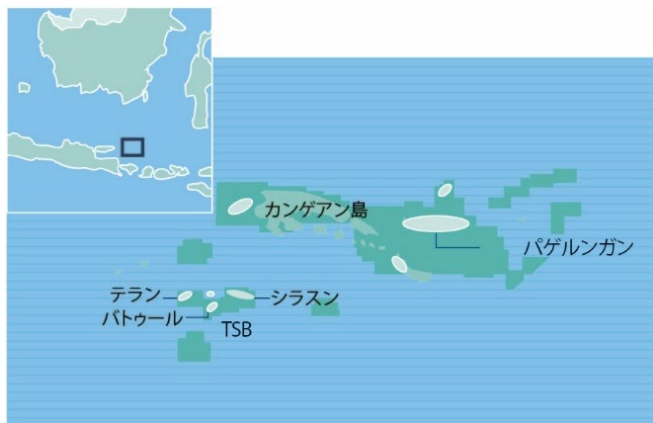
プロジェクト会社	(株)ジャペックスガラフ 当社出資比率55%
油田名	ガラフ油田
権益比率	30% (当社ネット 16.5%)
状況	生産/開発 ※ 2020年末に生産量日量23万バレル規模到達予定 (コロナ禍の影響などにより流動的) ※ 2020年3月中旬から生産/開発作業を一時休止中
オペレーター	PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V. (PCIHBV)
生産量	日量約6.8万bbl (操業休止前の2020年3月生産分平均、グロス)



その他地域 E&P事業

インドネシア カンゲアンプロジェクト

プロジェクト会社	Energi Mega Pratama Inc. 当社出資比率25% 他2社
鉱区名	カンゲアン鉱区
権益比率	100% (当社ネット 25%)
状況	生産
オペレーター	Kangean Energy Indonesia Ltd.
生産量	日量530万M3 原油換算日量約3.2万bbl (20年3月平均、グロス)



ロシア サハリン1プロジェクト

プロジェクト会社	サハリン石油ガス開発(株) (SODECO) 当社出資比率15.29%
鉱区名	チャイウオ、オドプトおよびアルクトン・ダギ鉱床
権益比率	30% (当社ネット 4.59%)
状況	開発/生産
オペレーター	Exxon Neftegas Ltd.



注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。

事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注: 本資料において、**(a)** は実績数値 (actual results) を、**(f)** は予想数値 (forecasts) を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話 03-6268-7111